

平成 27 年 11 月期（平成 26 年 11 月 15 日～平成 27 年 11 月 14 日）決算短信

平成 27 年 12 月 11 日
上場取引所 東証

ファンド名 国際のETF VIX中期先物指数
コード番号 1561
連動対象指数 円換算したS&P500 VIX中期先物指数
主要投資資産 指数連動有価証券
売買単位 1口
管理会社 三菱UFJ国際投信株式会社 URL <http://www.am.mufg.jp/>
代表者名 取締役社長 金上 孝
問合せ先責任者 ディスクロージャー部 宇野 誠朗 TEL (03)6250-4910

有価証券報告書提出予定日 平成28年2月9日
分配金支払開始予定日 —

I ファンドの運用状況

1. 平成 27 年 11 月期の運用状況（平成 26 年 11 月 15 日～平成 27 年 11 月 14 日）

(1) 資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 27 年 11 月期	203	(99.5)	0	(0.5)	204	(100.0)
平成 26 年 11 月期	280	(99.3)	1	(0.7)	282	(100.0)

(2) 設定・解約実績

(千口未満切捨て)

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
平成 27 年 11 月期	7	1	3	5
平成 26 年 11 月期	6	2	1	7

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数)×1)
	百万円	百万円	百万円	円
平成 27 年 11 月期	204	0	204	34,627
平成 26 年 11 月期	283	0	282	35,807

(4) 分配金

	1口当たり分配金
	円
平成 27 年 11 月期	0
平成 26 年 11 月期	0

2. 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

有 無

② ①以外の会計方針の変更

有 無

II 財務諸表等

国際のETF VIX中期先物指数

(1) 【貸借対照表】

	第3期計算期間末 (平成26年11月14日現在)	第4期計算期間末 (平成27年11月14日現在)
	金額 (円)	金額 (円)
資産の部		
流動資産		
預金	102,748	430,750
コール・ローン	2,362,851	1,058,258
社債券	280,890,465	203,347,639
未収利息	1	-
流動資産合計	283,356,065	204,836,647
資産合計	283,356,065	204,836,647
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	66,056	73,512
未払委託者報酬	409,457	455,678
その他未払費用	5,223	5,817
流動負債合計	480,736	535,007
負債合計	480,736	535,007
純資産の部		
元本等		
元本	1,034,931,600	772,923,600
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金 (△)	△752,056,271	△568,621,960
元本等合計	282,875,329	204,301,640
純資産合計	282,875,329	204,301,640
負債純資産合計	283,356,065	204,836,647

(2)【損益及び剰余金計算書】

	第3期計算期間	第4期計算期間
	自平成25年11月15日 至平成26年11月14日	自平成26年11月15日 至平成27年11月14日
	金額(円)	金額(円)
営業収益		
受取利息	825	1,103
有価証券売買等損益	△95,133,955	△10,144,244
為替差損益	54,319,496	14,258,496
その他収益	47,570	61,050
営業収益合計	△40,766,064	4,176,405
営業費用		
受託者報酬	132,791	155,600
委託者報酬	823,182	964,589
その他費用	242,505	315,905
営業費用合計	1,198,478	1,436,094
営業利益又は営業損失(△)	△41,964,542	2,740,311
経常利益又は経常損失(△)	△41,964,542	2,740,311
当期純利益又は当期純損失(△)	△41,964,542	2,740,311
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額(△)	-	-
期首剰余金又は期首欠損金(△)	△600,094,729	△752,056,271
剰余金増加額又は欠損金減少額	89,672,000	275,454,000
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	89,672,000	275,454,000
剰余金減少額又は欠損金増加額	199,669,000	94,760,000
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	199,669,000	94,760,000
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金(△)	△752,056,271	△568,621,960

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第4期計算期間 自平成26年11月15日 至平成27年11月14日
1. 運用資産の評価基準及び評価方法	社債券 原則として時価で評価しております。 時価評価に当っては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益及び為替予約取引による為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。

(貸借対照表に関する注記)

第3期計算期間末 (平成26年11月14日現在)	第4期計算期間末 (平成27年11月14日現在)
1. 計算期間の末日における受益権の総数 7,900 口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 5,900 口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 752,056,271 円	2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 568,621,960 円
3. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たりの純資産額 35,807 円	3. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たりの純資産額 34,627 円

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

第3期計算期間 自平成25年11月15日 至平成26年11月14日	第4期計算期間 自平成26年11月15日 至平成27年11月14日
<p>(1) 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」(に基づいて定められた投資ガイドライン及び運用計画)に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>(2) 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は「(有価証券に関する注記)」に記載しております。 これらは、市場リスク(価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなど)、信用リスク、及び流動性リスク等に晒されております。 また、当ファンドは、信託財産に属する資産の効率的な運用に資することを目的として、為替予約取引を行っております。当該デリバティブ取引は、市場価格の変動に係るリスクを有しております。</p> <p>(3) 金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、運用部門から独立した部門が、信託財産の運用に係る法令、信託約款等の遵守状況や、「(2)金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク」に記載したリスクについてのモニタリングを行い、その結果に基づき経営陣・運用部門その他関連部署へ報告を行っております。</p> <p>①市場リスクの管理 市場リスクに関しては、ファンドの運用方針等を踏まえ、組入資産が保有するリスクを把握・分析することにより、リスク管理を行っております。</p> <p>②信用リスクの管理 信用リスクに関しては、クレジット市場の動向及び組入資産の発行体信用状況の変化等をモニタリングすることにより、リスク管理を行っております。</p> <p>③流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、市場規模及び商品流動性の状況等について、把握・分析することにより、リスク管理を行っております。</p> <p>(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>	<p>(1) 金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>(2) 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左</p> <p>(3) 金融商品に係るリスク管理体制 同左</p> <p>①市場リスクの管理 同左</p> <p>②信用リスクの管理 同左</p> <p>③流動性リスクの管理 同左</p> <p>(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明 同左</p>

2. 金融商品の時価等に関する事項

第3期計算期間末 (平成26年11月14日現在)	第4期計算期間末 (平成27年11月14日現在)
(1)貸借対照表計上額、時価及びその差額 貸借対照表上の金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	(1)貸借対照表計上額、時価及びその差額 同左
(2)時価の算定方法 有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。	(2)時価の算定方法 有価証券 同左
コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	第3期計算期間末 (平成26年11月14日現在)	第4期計算期間末 (平成27年11月14日現在)
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
社債券	△90,733,394	△16,950,441
合計	△90,733,394	△16,950,441

(デリバティブ取引に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

第3期計算期間 自平成25年11月15日 至平成26年11月14日	第4期計算期間 自平成26年11月15日 至平成27年11月14日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行われていないため、該当事項はありません。	同左

(元本の増減)

第3期計算期間末 (平成26年11月14日現在)	第4期計算期間末 (平成27年11月14日現在)
期首元本額 903,927,600円	期首元本額 1,034,931,600円
期中追加設定元本額 262,008,000円	期中追加設定元本額 131,004,000円
期中一部解約元本額 131,004,000円	期中一部解約元本額 393,012,000円

(4)【附属明細表】

第1 有価証券明細表

① 株式(平成27年11月14日現在)

該当事項はありません。

② 株式以外の有価証券(平成27年11月14日現在)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
社債券	アメリカ・ドル	VIX MID BARC2111 NOTE	9,841,000.00	1,658,897.37	
		小計	9,841,000.00	1,658,897.37	
		銘柄数:1 組入時価比率:99.5%		(203,347,639)	100.0%
合計				203,347,639	(203,347,639)

(注1)通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

(注3)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。